

白山の火山活動解説資料（平成 29 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

17日に一時的な火山性地震の増加がみられましたが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図2）

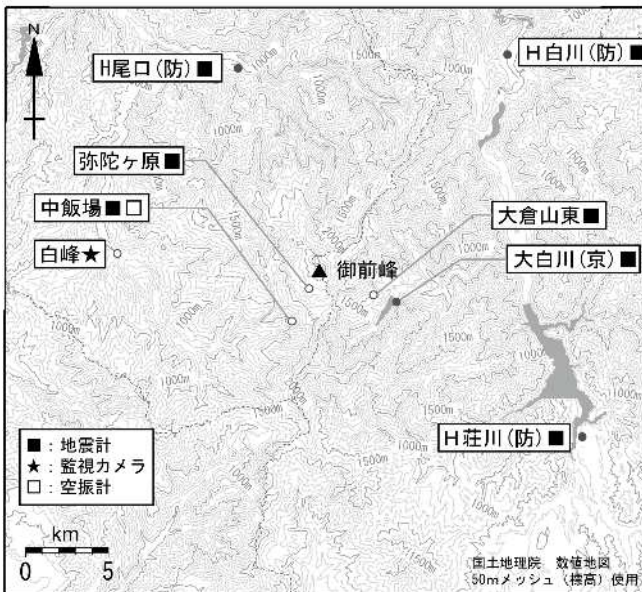
白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図3～6）

17日17時頃から23時頃にかけて、山頂付近の深さ約3～4kmを震源とする振幅の小さな火山性地震（最大でマグニチュード（M）0.6¹）が一時的に増加しました。17日の日回数は42回でした。18日以降地震活動は17日以前の状態に戻っています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

白山では、これまでも一時的な地震増加が時折みられています。最近では2014年12月16日に山頂付近を震源とする地震が一時的に増加し、最大の地震はM3.4、日地震回数は167回でした。

1）マグニチュード（M）の値は暫定値で、後日変更することがあります。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（防）：防災科学技術研究所、（京）：京都大学防災研究所

図1 白山 観測点配置図



図2 白山 山頂部の状況
（3月13日 白峰監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成29年4月分）は平成29年5月11日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。

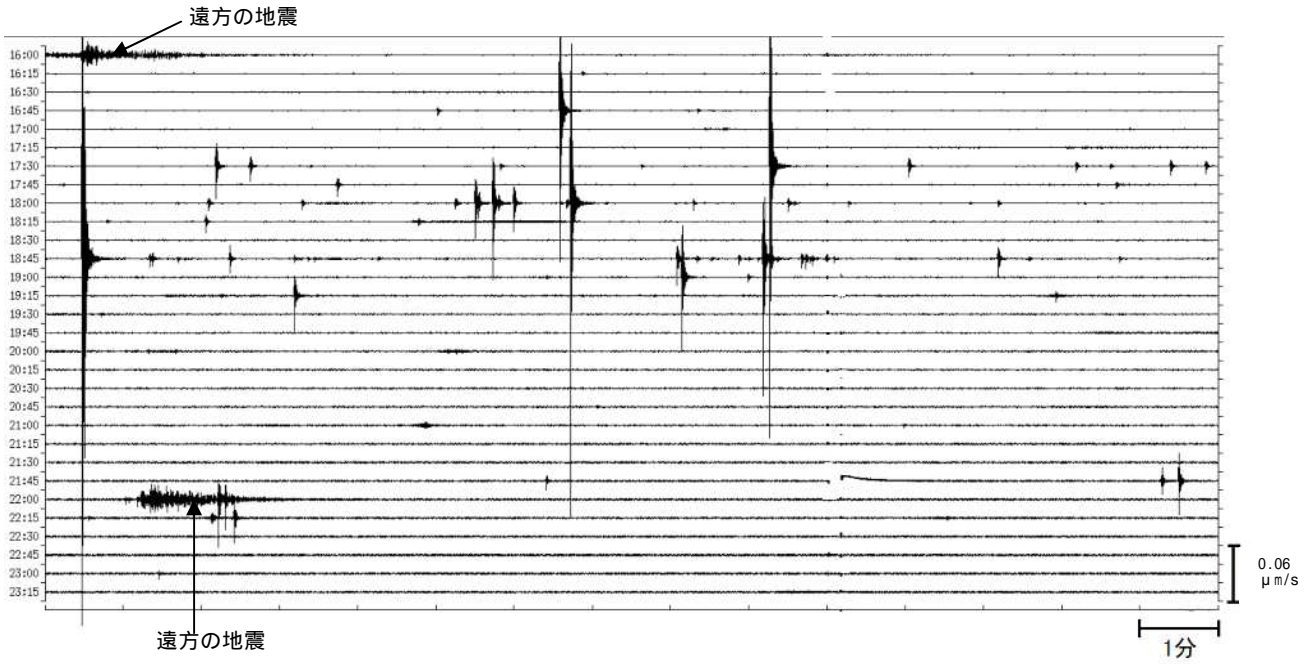


図3 白山 弥陀ヶ原観測点地震波形(上下動速度)(2017年3月17日16時00分~23時30分)

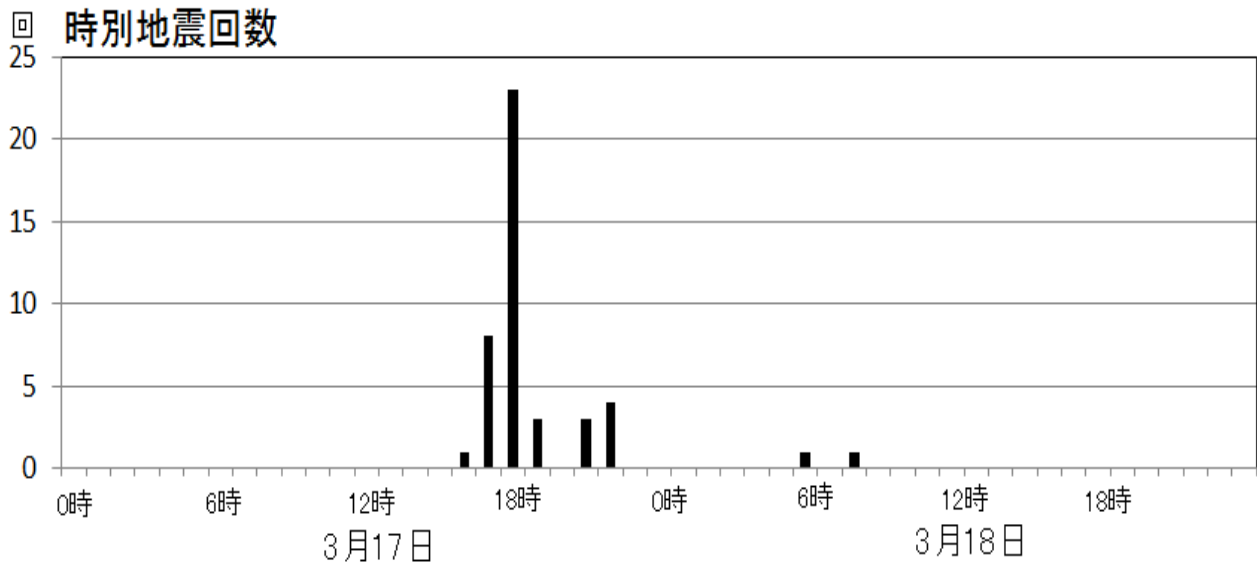


図4 白山 特別地震回数(2017年3月17日~3月18日)

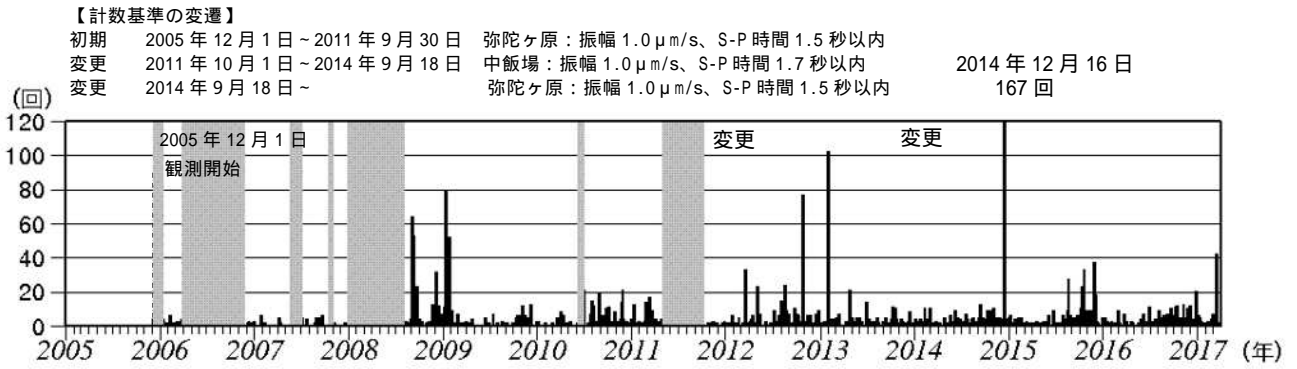


図 5 白山 日別地震回数 (2005 年 12 月 1 日 ~ 2017 年 3 月 31 日)
・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間

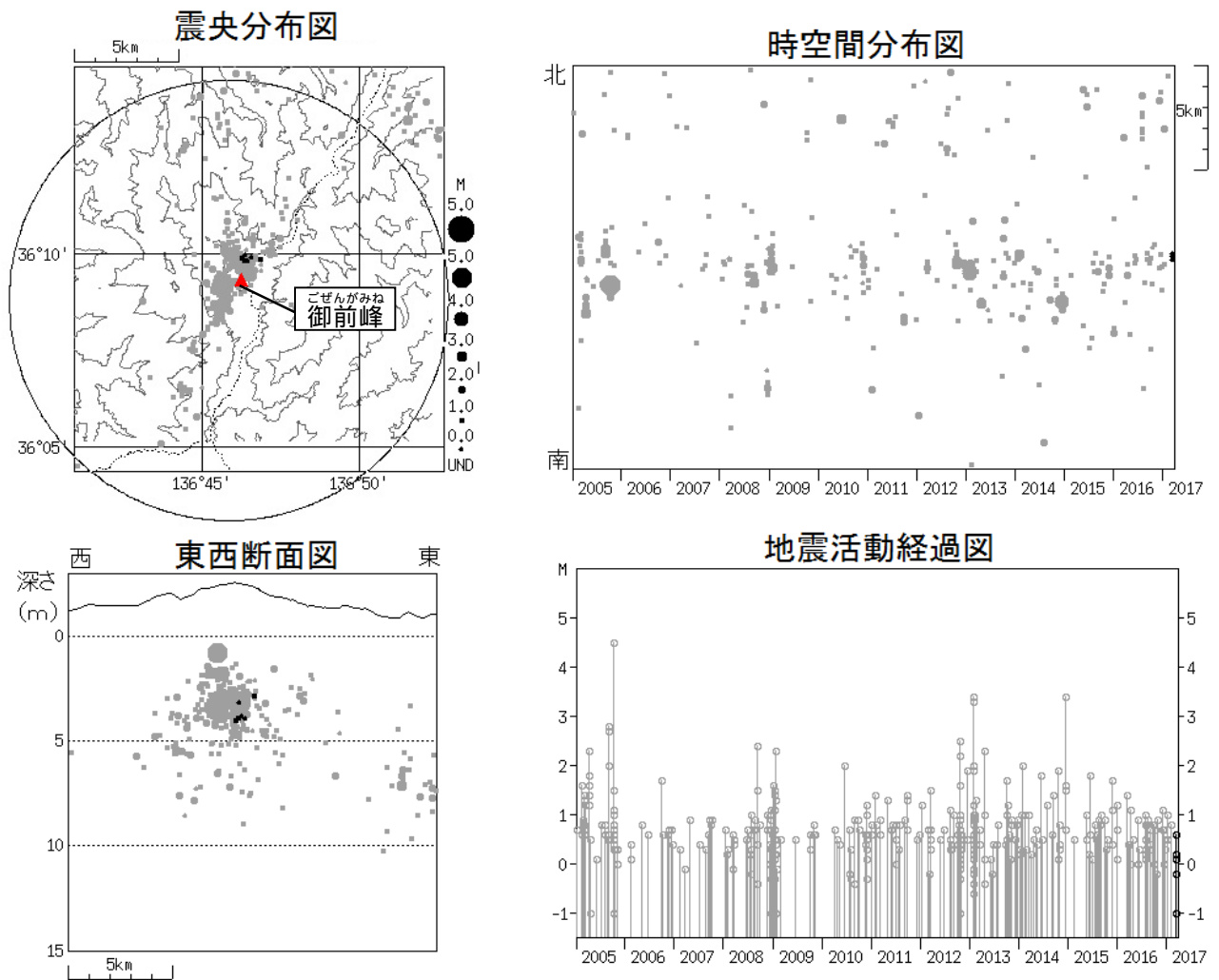


図 6 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動 (2005 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 3 月 31 日)
 : 2005 年 1 月 1 日 ~ 2017 年 2 月 28 日 : 2017 年 3 月 1 日 ~ 3 月 31 日
 ・ 震央分布図中の円は図 5 の計数対象地震 (弥陀ヶ原で S - P 時間 1.5 秒以内) のおよその範囲を示しています。
 ・ M (マグニチュード) は地震の規模を表します。
 ・ 図中の震源要素の一部は暫定値が含まれています。